

クラス番号	334	担当教員名	宮國 康弘 (みやぐに やすひろ)
テーマ	地域における福祉課題の解決と価値創造～社会福祉調査と地域づくり実践事例を通じて～		
著書・論文 研究課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>Miyaguni Y, Tabuchi T, Aida J, Saito M, Tsuji T, Sasaki Y, Kondo K: Community social support and onset of dementia in older Japanese individuals: a multilevel analysis using the JAGES cohort data. <i>BMJ Open</i> 2021;11:e044631. doi:10.1136/bmjopen-2020-044631. (地域レベルの社会的サポートと認知症発症との関連)</li> <li>宮國康弘. 地域共生社会におけるソーシャル・インパクト・ボンドの活用：地域住民の健康を支える. <i>保健の科学</i>. 2020; 62(10): 668-72.</li> <li>宮國康弘. 地域支援事業の現在の到達点：あるべき姿とこれからの課題. <i>Monthly IHEP</i>. 2019(290): 10-6.</li> <li>宮國康弘, 佐々木由理, 辻大士, 亀田義人, 横山芽衣子, 近藤克則. 地域診断支援システム開発のための多地域大規模疫学調査の概要. <i>新情報</i>. 2017; 105: 27-37.</li> <li>宮國康弘, 近藤克則. 健康格差の現状と対策のヒント: 労働と関わる健康格差. <i>労働の科学</i>. 2016; 71(4): 196-9.</li> </ul>		

## ゼミナール概要

キーワード：地域づくり、人とのつながり、社会環境、データ分析、介護予防、健康づくり、地域マネジメント  
 専門領域：社会福祉調査、社会疫学、公衆衛生学

### 【目的、内容、方法等】

- 地域には様々な福祉課題があります。その課題解決のために、主に本ゼミでは、地域づくりに着目したアプローチを学んでいきます。
- 地域の福祉課題を把握していくためには、個々の事例等の質的情報と、地域全体を俯瞰する人口統計データ等の量的情報が必要となってきます。それらの情報から個人や地域について深め、どのように対策を進めることで、その課題は解決に向かうのか、地域マネジメント力の向上を目指します。
- 地域マネジメント力向上のために、①先行事例・研究の整理、②質的・量的データの収集や集計、③解決のためのアプローチの検討を行います。

### 【授業計画】

- 3年次前期**：日本における福祉課題について事例を通じて現状を把握していきます。また、卒業論文執筆に向けて、文献収集、データ収集の方法、論文の書き方などを学びます。
- 3年次後期**：個々の関心に基づいて、卒業研究のテーマ設定や計画作成を行います。主に関心のあるテーマに沿った文献を個々で収集して整理していくながら、テーマを絞り込んでいきます。
- 4年次**：各自設定したテーマで卒業論文執筆を進めます。社会福祉士国家試験や、就職活動に影響がないように、夏から秋にかけて完成を目指します。

## 担当教員からのメッセージ



私は今年日本福祉大学に赴任したばかりで、専門演習を担当するのは初めてとなります。

宮國ゼミ第1期生になりませんか？大募集中です！

社会や地域を変えたい！そんな社会に対する熱い想いを持った学生、または自分自身のことについて深めたい、変わりたい、成長したい学生も大歓迎です。一緒にみんなのゼミをつくっていただきたいと思います。